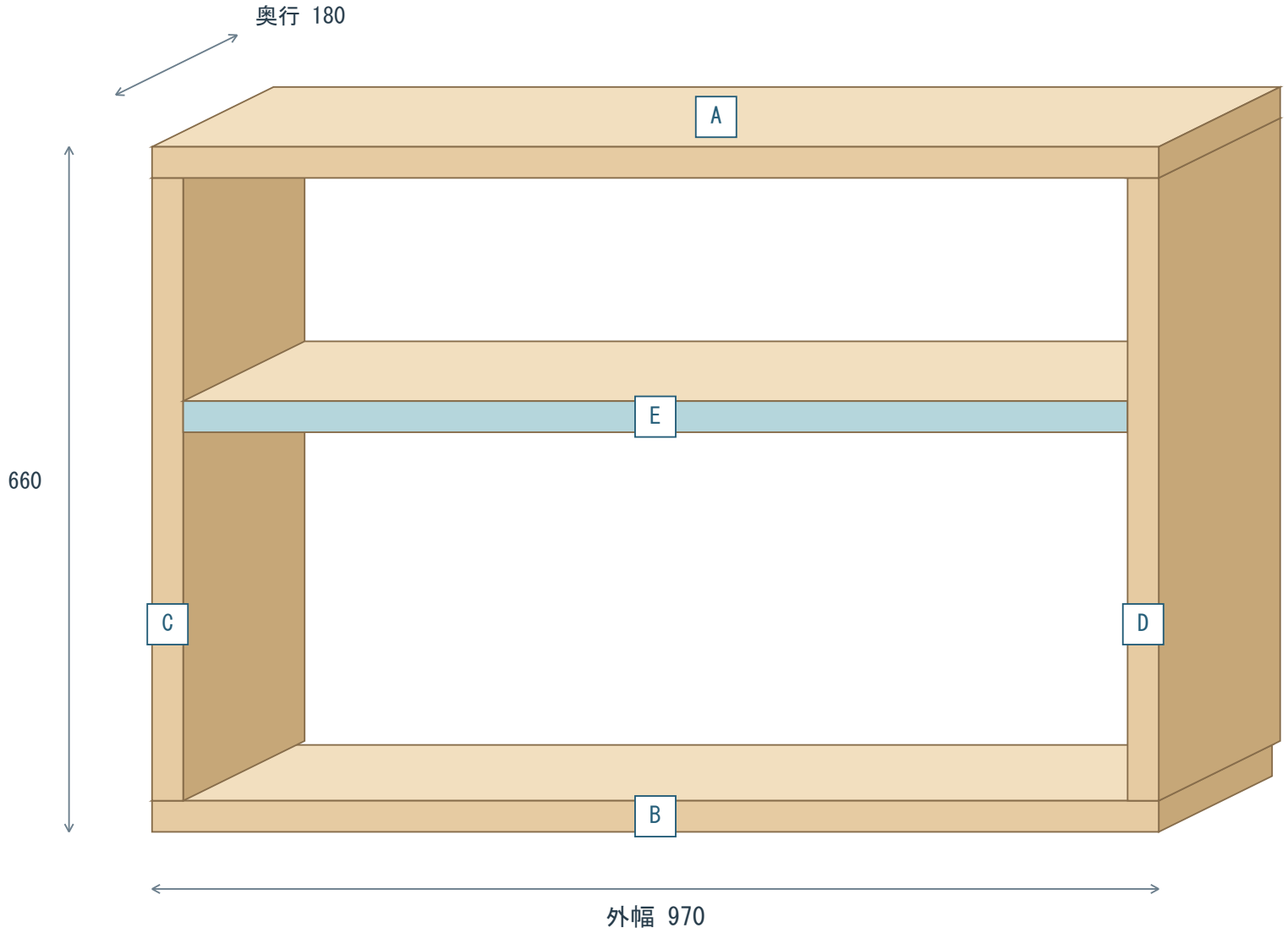
杉カフェ板｜完成立体図と木材費

共通外幅970・高さ660／中棚の厚み中心400／合板の前板・別の横桟なし



設計条件

材厚：30

側板の長さ：600

中棚の長さ：910

棚上面：415

棚下面：385

巾木の逃げ：高さ65

深さ12

木材だけの費用

1,180円 × 3枚

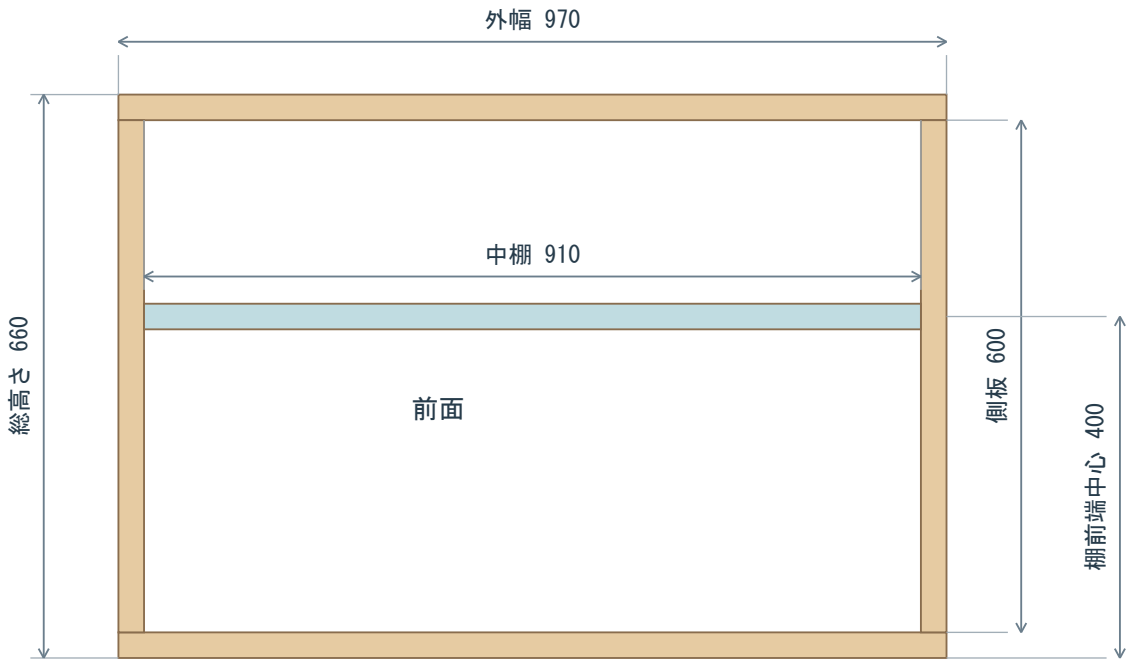
合計 3,540円

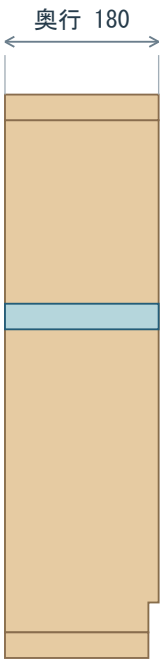
立体図は構成を示す模式図です。巾木の切り欠き形状は2・4ページを参照。

青い中棚の前端を枕位置へ合わせます。高さ400は仮設定で、枕止め効果・耐荷重は未検証。

杉カフェ板｜寸法図と完成部材表

接合：天板と底板の間に側板を入れ、中棚を側板の間に入れる／板厚を差し引いた寸法を表示





側面（側板透過）

側板：660 − 30 − 30

= 600

中棚：970 − 30×2

= 910

中棚上面 415

中棚下面 385

前面をすべてそろえる

切り出す完成寸法（長さ×奥行×厚さ）

記号・部材	完成寸法 mm	数量	加工・位置
A 天板	970 × 180 × 30	1	側板の上に載せる
B 底板	970 × 168 × 30	1	背面側を12短くする
C・D 側板	600 × 180 × 30	2	背面下端に深さ12×高さ35の切り欠き
E 中棚	910 × 180 × 30	1	前端中心400／下面385に合わせる

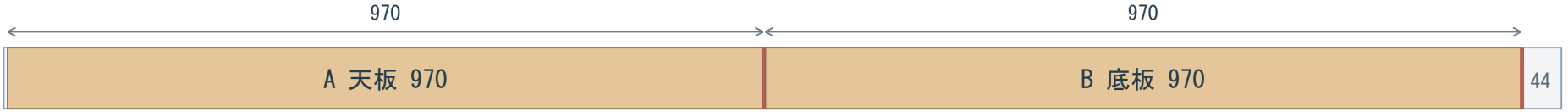
角の丸みや材の反りは図で省略。購入材の実厚・実幅を測り、異なる場合は長さを再計算。

杉カフェ板｜木取り図：長さ方向の切り出し

刃幅（切りしろ）3㎜、両端の整形予備5㎜ずつを仮定／機械・材料によって調整

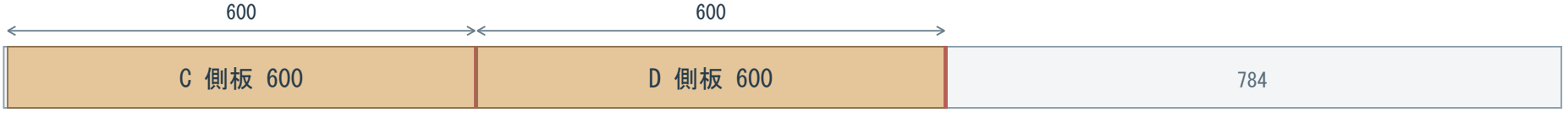
購入材：杉カフェ板 約30×200×2000 を3枚

1枚目：全長 2000



2000 = 端部予備10 + 部材(970 + 970) + 刃幅6 + 残材44

2枚目：全長 2000



2000 = 端部予備10 + 部材(600 + 600) + 刃幅6 + 残材784

3枚目：全長 2000



2000 = 端部予備10 + 部材(910) + 刃幅3 + 残材1077

木材費：1,180円 × 3 = 3,540円（ご指定の単価をそのまま使用）

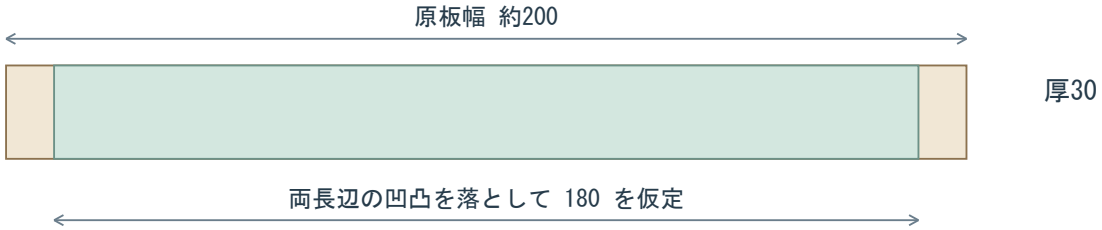
長さの残材合計 1905㎜。端部予備30㎜・横切り刃幅15㎜は別に確保。

加工代・金具・ビス・塗料・送料は含みません。写真の値札とは価格条件を分けています。

杉カフェ板｜幅詰め・巾木よけ・組み立て

切断寸法を現物に写すための詳細図／取付金具の穴位置は、購入する製品の実物で決める

1. 幅方向の加工（長さ方向から見た断面）



凹凸の形状と刃幅を確認して、仕上がり180を確保できるか相談。

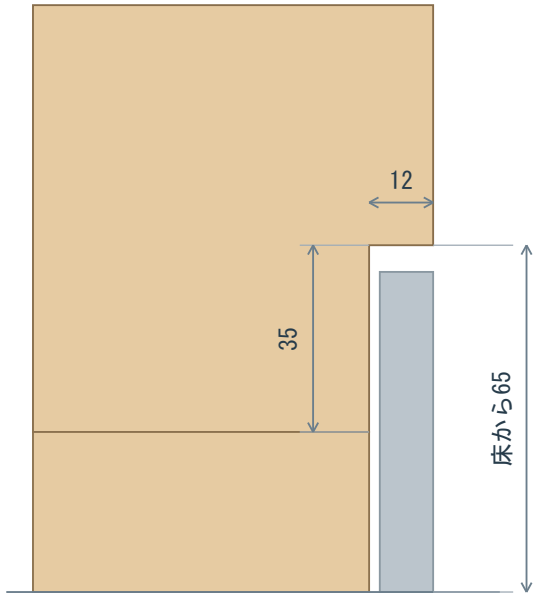
左右10ずつ切ればよいという指定ではありません。長手切断の対応も要確認。

2. 底板の奥行を12短くする



赤＝仮の刃幅3、右端＝残り9（合計12）。前面の位置は変えません。

3. 側板の背面下端



側板の切り欠き：深さ12 × 高さ35

35 = 65 − 底板厚30

想定巾木：高さ60・出幅10

現場の巾木を測って逃げを調整。

4. 接合と設置

各水平板の左右をL金具で接合する案（各端に前後2個、計12個）。

金具・ビスは厚みと相手材に適合する製品を選び、下穴をあける。

枕とマットレスで中棚の位置を仮確認してから本固定。

壁・ベッドへの固定は現場条件で別途決定。巾木よけは転倒対策ではない。

耐荷重は未検証。寄りかかる・登る・乳幼児用ガードの用途には使わない。

杉カフェ板｜材料写真と価格条件

IMG_4470～IMG_4473をすべて使用／写真は材料売場の資料であり、自作完成品の写真ではありません



IMG_4470

杉カフェ板の売場と値札。写真の価格は撮影時の表示。



IMG_4471

カフェ板の木口と長辺の凹凸。加工前に有効幅を確認。



IMG_4472

別の板材の価格表示。今回の2×6の単価根拠には使わない。



IMG_4473

カフェ板の表面と節。反り・割れ・仕上げ状態を確認。

費用計算はユーザー指定：2×6材1,780円／カフェ板1,180円。店頭写真の表示とは別条件です。